



2020年3月期 第3四半期 決算説明会資料

2020年2月18日

日工株式会社
証券コード 6306

常務取締役 財務本部長 藤井 博

□本説明会資料において当社事業のアスファルトプラントを『AP』、
コンクリートプラントを『BP』と表記致します。

| | |
|----------------------|-----------|
| 海外連結子会社 連結方法変更 | ▶ P.3 |
| 情報開示 | ▶ P.4 |
| トピックス | ▶ P.5 |
| 2020年3月期第3四半期事業環境と実績 | ▶ P.6-19 |
| 参考資料 | ▶ P.20-24 |

連結子会社のうち決算日が12月31日である海外子会社2社（日工（上海）工程機械有限公司 他1社）については同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については必要な調整を行っていました。

より適切な経営情報の把握、及び四半期連結財務諸表の開示を行うために当第1四半期連結会計期間より、連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。

この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間は、2019年1月1日から12月31日までの12ヶ月間を連結しております。

海外子会社の決算時期変更に対する影響は

- ・ 受注高 : +417百万円
 - ・ 売上高 : +1,438百万円
 - ・ 営業利益 : +50百万円
- になります。

★日工上海の実質ベース

前年同期（1-12月）比

受注高+752百万円、売上高+258百万円、営業利益+126百万円

□今期より、海外の連結子会社の連結方法を変更しているため3Q時点での影響度を説明します。

□決算時期の変更による影響は、受注高で+417百万円、売上高で+1,438百万円、営業利益で+50百万円になります。

□日工上海の実質的な2019年度の結果について、2018年の1～12月と2019年の1年間の同じ期間を比較すると、受注高は+752百万円、売上高は +258百万円、営業利益は+126百万円になりました。

● **情報開示**

- ✓ 投資家や株主を含む全てのステークホルダーの皆様に向けて「日エグループ統合レポート2019」を日英で作成
- 2020年は、よりESG視点での統合レポートへ拡充予定

Contents

| | | | |
|-----------------------|----|----------------------------|----|
| 企業理念 | 01 | リーダーシップ&ガバナンス | |
| 事業方針・目次 | 02 | ガバナンス(取締役会議長&社外取締役)座談会 | 35 |
| | | 役員紹介 | 39 |
| | | 役員略歴一覧 | 41 |
| | | コーポレートガバナンスの体制 | 42 |
| | | 財務・非財務ハイライト | |
| | | 2018年度事業概況と2019年度の見通し | 43 |
| | | 過去10年間の財務指標推移 | 45 |
| | | 非財務指標 | 47 |
| | | 株式情報・株価推移 | 48 |
| | | 会社概要と拠点一覧 | 49 |
| | | 子会社要覧 | 50 |
| | | ビジネスモデル&イノベーション | |
| CEOメッセージ | 03 | | |
| 創業から1世紀の歩み | 07 | | |
| 価値創造プロセス | 09 | | |
| アスファルトプラント関連事業 | 11 | | |
| コンクリートプラント関連事業 | 13 | | |
| 環境・搬送関連事業 | 15 | | |
| 新中期経営計画 | 17 | | |
| Point 1 モバイルプラント事業 | 20 | | |
| Point 2 海外AP事業 | 21 | | |
| Point 3 メンテナンス・サービス事業 | 23 | | |
| CFOメッセージ | 25 | | |
| | | サステナビリティへの取り組み | |
| サステナビリティへの取り組み | 27 | | |
| 顧客満足を支える研究開発体制 | 28 | | |
| 顧客満足の追求 | 29 | | |
| 従業員満足の追求 | 31 | | |
| 事業活動と環境経営 | 33 | | |



https://www.nikko-net.co.jp/ir/
 英語版 https://www.nikko-net.co.jp/en/news/

□ 情報開示については、2019年度に当社として初めての統合レポートを発行しました。

□ 2020年は、よりESG視点の強化など進化した形の統合レポートを作成して発行することを予定しています。

新会社設立

Nikko Asia(Thailand)Co.,Ltd

設立 2020年2月25日(予定)

安定的かつスピーディなメンテナンス・部品供給と、密なコミュニケーションを求めるタイ市場のニーズに応えることで、競争優位性の高い、新品・中古・プラントリニューアル事業の販売を拡大する

| 5つの事業方針 | | 事業概要・狙い | 顧客ニーズの充足 | 競争優位性 | | | |
|---------|-------------------|---|--|--|-------|-------|-------|
| 既存 | 新品プラント販売の拡大 | 機会損失の改善、商談勝率の改善を図り、新品プラント販売を拡大。高品質・安定稼働で認知されている中規模クラスの顧客をターゲットに、 継続的な収益基盤の中核 。 | <ul style="list-style-type: none"> 高品質で運用がしやすい 長期安定稼働 | <ul style="list-style-type: none"> 品質(安定稼働) ランニングコスト抑制 運用のしやすさ 信頼性 | | | |
| | 中古品プラント事業の立ち上げ | 市場の半分を占める日工製中古品の商流を押さえ(国内も含む)、新品販売とのカニバリを防ぐことで、新品販売の勝率向上も狙う。 | <ul style="list-style-type: none"> 低価格、インシャルコスト抑制(2,3年で損益分岐点を越えること) すぐに運用開始、安定運用 | <ul style="list-style-type: none"> メーカー保証の中古品 現地在庫保持、迅速に提供 仕入先となる日工既存顧客ネットワーク | | | |
| 新規 | プラントリニューアル事業の立ち上げ | システム販売を含む中古プラントの入れ替え提案。初期投資を抑えて 新たな収益基盤の獲得 。市場情報獲得・将来のプラント販売候補を 囲い込み 、中長期的な事業拡大への足掛かりを狙う。 | <ul style="list-style-type: none"> プラント購入の投資抑制 長期利用しているプラントのパーツ交換やオーバーホールで投資を抑えて継続利用 | <ul style="list-style-type: none"> 顧客ニーズに合わせ提案 メーカーによる入替で高品質、低いランニングコストを実現 | | | |
| | 部品販売事業の拡大 | 現時点で顕在化しており将来的にも ニーズがあると想定される部品供給 を担い、 新たな収益源を確保と製品販売の機会獲得 を狙う。 | <ul style="list-style-type: none"> 大手 部品調達スピード 中小 調達のしやすさ | <ul style="list-style-type: none"> 正規品パーツとしての品質 メーカーでなければ提供できない基幹部品まで取り扱い | | | |
| | メンテナンス事業の立ち上げ | 競合他社に追従し、メンテナンス事業に参入することで、 製品販売の機会損失・商談ロスの低減 を狙う。 | <ul style="list-style-type: none"> ソリューションの提示 稼働状況の定期フォロー 信頼できる相談相手 | <ul style="list-style-type: none"> メーカーによる的確な診断・提案能力 日本市場で培ったノウハウ | | | |
| 収益計画 | 項目 | FY19 (参考) | FY20 | FY21 | FY22 | FY23 | FY24 |
| | 売上高 | 300 | 620 | 953 | 1,398 | 1,549 | 1,704 |
| | 新品販売 | 300 | 400 | 600 | 800 | 900 | 1,000 |
| | 中古販売 | - | 43 | 85 | 170 | 170 | 170 |
| | リニューアル | - | 145 | 166 | 250 | 271 | 292 |
| | メンテナンス・部品 | - | 33 | 102 | 178 | 208 | 242 |
| | 営業利益 | - | ▲76 | 29 | 101 | 129 | 157 |

www.nikko-net.co.jp © Copyright NIKKO CO., LTD. 2020 All rights reserved.

5

□今回、タイに2月25日設立予定で会社をつくることを発表しました。

当面は生産拠点を持たずに、APのメンテナンスとセールスに集中することにしています。

□タイに拠点を設ける目的は、ASEANを当社として中国に次ぐ海外市場として攻めていくという中期的な経営戦略の一環です。

□今回はタイに拠点を作りますが、将来的にはできればタイをハブとしてASEAN諸国に我々の営業エリアを広げていきたいと考えています。

□タイでの成功度にご興味があると思いますが、実はタイでは日工のブランドはお客様となる企業には大変浸透しています。我々が直接過去に販売したものではありませんのですが、日本から日工の中古品が大量にタイに納入されています。恐らく、タイ市場の1/3~1/2は日工のプラントが稼働しているという状況です。

□我々は1年以上かけてタイ市場へ参入するための、市場調査、お客様へのヒアリング等々下準備をしてきました。その結果、日本からの輸出ベースでは限界があり、現地に拠点を作り、メンテナンスサービスの機能を備えて、販売していくことで十分勝機があると判断しました。

□5年間の事業計画を策定しており、初年度の2020年度は赤字となりますが次年度以降は黒字化する十分な勝算を持っています。



2020年3月期 第3四半期事業環境と 実績

2020年3月期 3Q実績

(単位：百万円)

| 3Q (4-12月) | 実績 | 対前年同期 | 対前年同期増減率 |
|----------------------|--------|--------|----------|
| 売上高 | 24,562 | +4,143 | +20.3% |
| 営業利益 | 1,040 | +733 | +238.8% |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 970 | +407 | +72.5% |

- ▶ AP事業：国内の製品売上高は、前年同期比増。メンテナンスは前年同期比減
海外は、輸出増、日工上海の売上高増（決算時期変更要因+a）
結果、売上高は前年同期比増
- ▶ BP事業：国内の製品売上高は、前年同期比増。メンテナンスは前年同期並
- ▶ 受注高は、前年同期比増

事業環境

AP事業

| 3Q (4-12月) | 実績 (万トン) | 対前年同期比 |
|------------|----------|--------|
| 合材製造量 | 2,824 | 99.3% |
| 新規合材 | 742 | 107.7% |
| 再生合材 | 2,081 | 96.6% |

再生合材比率 73.7%

資料出所：(一社)日本アスファルト合材協会

BP事業

| 3Q (4-12月) | 実績 (万m) | 対前年同期比 |
|------------|---------|--------|
| 生コンクリート出荷量 | 6,293 | 96.2% |

資料出所：全国生コンクリート工業組合連合会・全国生コンクリート協同組合連合会

- 3Qの数字は、売上、利益ともに前年同期より大幅な増収増益となりました。今期は1Qから対前年を大幅に上回って推移しています。
- 事業環境は、APに関しては合材の製造量が対前年比99.3%とほぼ前年並でした。
- 生コンは、オリンピック需要がなくなったことが影響したと思われる前年同期比96.2%となっています。

2019年度 業績ハイライト (1)



(単位：百万円)

| | 2018年度 | | 2019年度 | | | | | 通期進捗率 | 通期予想 |
|----------------------|--------|----------|--------|------------------|----------|------------------|-------|--------|------|
| | 3Q実績 | 3Q(累計)実績 | 3Q実績 | 対前年同期比 | 3Q(累計)実績 | 対前年同期比 | | | |
| 売上高 | 5,721 | 20,418 | 7,422 | +1,701 +29.7% | 24,562 | +4,143 +20.3% | 68.8% | 35,700 | |
| 営業利益 | ▲ 167 | 307 | 81 | +248 - | 1,040 | +733 +238.0% | 45.2% | 2,300 | |
| 営業利益率 | ▲ 2.9% | 1.5% | 1.1% | - | 4.2% | - | - | 6.4% | |
| 経常利益 | ▲ 142 | 453 | 129 | +271 - | 1,163 | +709 +156.5% | 46.5% | 2,500 | |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | ▲ 2 | 562 | ▲ 33 | ▲ 31 - | 970 | +408 +72.5% | 48.5% | 2,000 | |
| 受注高 | 5,796 | 19,650 | 7,034 | +1,238 +21.3% | 23,877 | +4,227 +21.5% | 63.8% | 37,450 | |
| 受注残高 | - | 9,364 | - | - | 12,769 | +3,405 +36.3% | - | 15,205 | |

(単位：円)

| | | | | | | | | |
|-------------|---|--------|---|---|--------|--------|---|--------|
| 為替レート (EUR) | - | 130.56 | - | - | 122.16 | ▲ 8.40 | - | 121.18 |
| 為替レート (RMB) | - | 16.76 | - | - | 15.82 | ▲ 0.94 | - | 15.66 |

- ▶ 国内AP事業：売上前年同期比 ▲127百万円
- ▶ 国内BP事業：売上前年同期比 +796百万円
- ▶ 海外売上高：輸出、前年同期比+288百万円。日工上海売上高、前年12ヶ月比+258百万円
- ▶ 日工上海の決算時期の変更による売上高影響額：+1,438百万円

www.nikko-net.co.jp © Copyright NIKKO CO., LTD. 2020 All rights reserved.

8

- 業績ハイライトは、売上、利益などは表の数字を見ていただければと思います。このページでは焦点を絞って、受注高と受注残高について説明します。
- 今期の3Q迄の受注高は238億77百万円となり、前年同期と比較すると+42億円の大規模な受注増となりました。特定のセグメントだけが増えたのではなく、各セグメントでそれぞれ増えた状況です。
- 受注残高も受注高が増えた関係で前年同期より+34億円の127億69百万円となりました。
- 通期の期末時点においても、受注高、受注残高とも対前年比大幅増となる見込みです。

2019年度 業績ハイライト (2)



(単位：百万円)

| | | 2018年度 | | 2019年度 | | | | | |
|------------|-------|--------|----------|--------|---------|----------|---------|-------|--------|
| | | 3Q実績 | 3Q(累計)実績 | 3Q実績 | 対前年同期比 | 3Q(累計)実績 | 対前年同期比 | 通期進捗率 | 通期予想 |
| AP関連事業 | 売上高 | 2,460 | 10,293 | 3,789 | +54.0% | 12,456 | +21.0% | 68% | 18,367 |
| | 営業利益 | ▲132 | 283 | ▲53 | ▲59.8% | 623 | +120.1% | 42% | 1,476 |
| | 営業利益率 | ▲5.4% | 2.7% | ▲1.4% | - | 5.0% | - | - | 8.0% |
| BP関連事業 | 売上高 | 1,612 | 5,482 | 1,722 | +6.8% | 6,291 | +14.8% | 67% | 9,369 |
| | 営業利益 | 23 | 381 | 89 | +287.0% | 386 | +1.3% | 55% | 697 |
| | 営業利益率 | 1.4% | 7.0% | 5.2% | - | 6.1% | - | - | 7.4% |
| 環境及び搬送関連事業 | 売上高 | 601 | 1,699 | 561 | ▲6.7% | 1,914 | +12.7% | 68% | 2,803 |
| | 営業利益 | 146 | 254 | 174 | +19.2% | 393 | +54.7% | 82% | 479 |
| | 営業利益率 | 24.3% | 14.9% | 31.0% | - | 20.5% | - | - | 17.1% |
| その他事業 | 売上高 | 1,048 | 2,942 | 1,350 | +28.8% | 3,899 | +32.5% | 76% | 5,159 |
| | 営業利益 | 115 | 208 | 196 | +70.4% | 644 | +209.6% | 68% | 948 |
| | 営業利益率 | 11.0% | 7.1% | 14.5% | - | 16.5% | - | - | 18.4% |
| 全社費用 | | ▲318 | ▲820 | ▲322 | +4 | ▲1,005 | +185 | 77% | ▲1,303 |

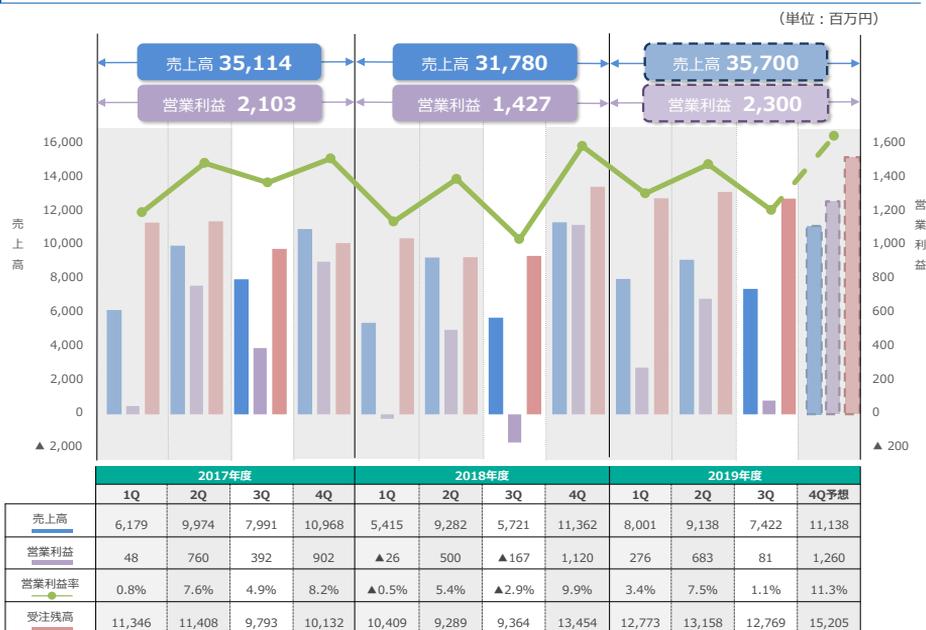
- ▶ AP関連事業 : 国内売上高は、製品が増加、メンテナンス事業が減少し、前年同期比▲1.5%減
海外売上高は、輸出の増加と日工上海の売上高増及び決算時期の変更により前年同期比125.4%増
事業全体売上高は、21.0%増
- ▶ BP関連事業 : 売上高は製品が増加、メンテナンス前年並となり前年同期比14.8%増
- ▶ 環境及び搬送関連事業 : 売上高は環境製品、搬送ともに増加し、前年同期比12.7%増
- ▶ その他事業 : 仮設機材・破砕機・防水板の売上高増加し、前年同期比+32.5%増

www.nikko-net.co.jp © Copyright NIKKO CO., LTD. 2020 All rights reserved.

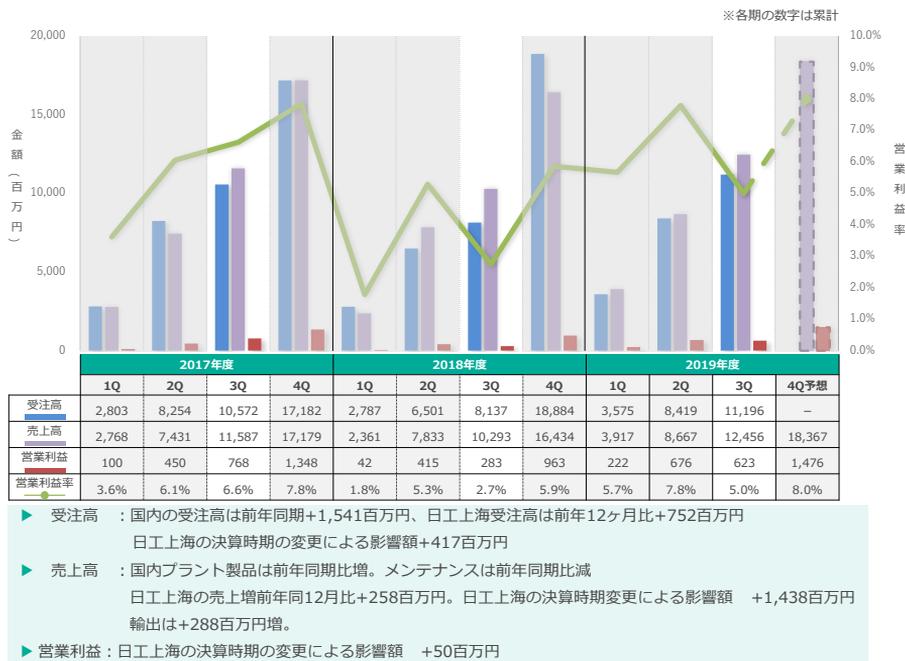
9

- セグメントごとでは、3Q末時点で全体の通期予想数値に対する進捗率でみると若干劣っていますが、当社の場合は4Qに売上と利益が集中するので、現時点で予想数値の範囲内で推移していると考えています。但し、セグメントでは若干の濃淡があります。
- APが予想比で若干低調となっており、その他事業、搬送事業が予想以上に好調です。BPに関してはほぼ予想通りです。
- APが予想より少し低調の要因は、輸出と国内のメンテナンスサービスが予想数値より若干悪いためです。

四半期別売上高・営業利益推移



- このページは、売上高、営業利益、営業利益率、受注残高を四半期ごとに示したものです。
- 2019年度3Qに関しては、売上が増加したことに伴い前年度3Qの赤字から黒字転換しました。
- 4Qについては、前年の4Qと売上はほぼ同水準、利益は少し増やす必要がありますが、通常年並と考えています。



www.nikko-net.co.jp © Copyright NIKKO CO., LTD. 2020 All rights reserved.

11

- AP関連事業では、国内の受注は前年同期比+約15億円と堅調に推移しています。
- 売上高に関しては、国内プラント製品は増加しましたがメンテナンスに関しては減少しました。
- メンテナンスが減少した理由は、社内的にメンテナンスの受注にブレーキを踏みスタートしたことです。
- 今期に関しては、AP製品、BP製品の大型案件の受注残高があり、メンテナンスの中の設計をしてから物づくりをする大きなユニットまで手が回らないという前提で期初からスタートしたためにメンテナンスの売上が3Qまで若干低調となりました。
- 4Qでは、ほぼ予算まで盛り返せるとみています。



- ▶国内 : プラント製品は前年同期比増 (+15.7%)。メンテナンスは前年同期比減 (▲9.4%)
- ▶海外 : ロシア向け1台 タイ向け2台 台湾向けバーナー売上あり前年同期比増。
- ▶日工上海 : 前年12ヶ月間比売上+258百万円。

□APの国内と海外の内訳です。

□海外に関しては、日工上海は引き続き非常に好調です。輸出は対前年比でプラスとなっていますが予想対比では低調に推移しました。

□インドネシア向けでプラントが2台出る予定でしたが、決まっていないのが一番の要因です。



- ▶ 受注高 : 前年同期比増 (+10.4%)
- ▶ 売上高 : プラント製品は前年同期比増 (+31.9%)。メンテナンスは前年同期並 (+0.1%)
- ▶ 営業利益 : 前年同期並

□BPに関しては、前年同期比で受注高が+10.4%、売上高は製品が+31.9%と大幅増、メンテナンスが前年並となりました。

□利益率が前年度、一昨年度より少し悪くなっています。

□以前より説明していますが、BPに関しては当社の市場シェアを高めるために他社と競合する大型案件、複数のプラントを保有しているお客様に対しては値段を下げてでも受注する戦略をとっています。

その影響も若干あり、利益率が今回悪くなっています。



- ▶ 受注高 : 環境大型案件受注無く、前年同期比減 (▲10.0%)
- ▶ 売上高 : 搬送製品の値上げ、付属品追加効果により対前年比増 (+12.6%)
- ▶ 営業利益 : 搬送製品の売上増に伴い増加 (+54.7%)

□環境及び搬送事業の今期の特徴としては、搬送に関して製品の値上げをお客様に受け入れていただいたことが利益面に貢献しています。

□一方で環境の大型案件が今期は無く、このセグメントへの貢献が低くなりました。



- ▶ 受注高 : 防水板の受注が前年同期比+58%増
- ▶ 売上高 : 仮設機材 (+5.9%)、破砕機 (+18.2%)、防水板 (+351.9%) 増により前年同期比増
- ▶ 営業利益 : 利益率の高い破砕機、防水板の増により前年同期比増

★その他事業の構成
 仮設機材 30%、防水板・水門 21.4%、日工開発製品 10.6%、土農工具 12.4%、破砕機 9.5%、モバイル 4.7%、他 11.4%

□その他事業とはどのような分野かというお問い合わせをいただき、その他事業の内容について、スライドの一番下部に内容を書きました。

□特に今期は防水板、仮設機材、破砕機が好調となっています。

中でも、2年連続して水害が発生した影響と思われますが、防水板に対する需要が強くなり、前年同期比+352%と大幅に増えました。

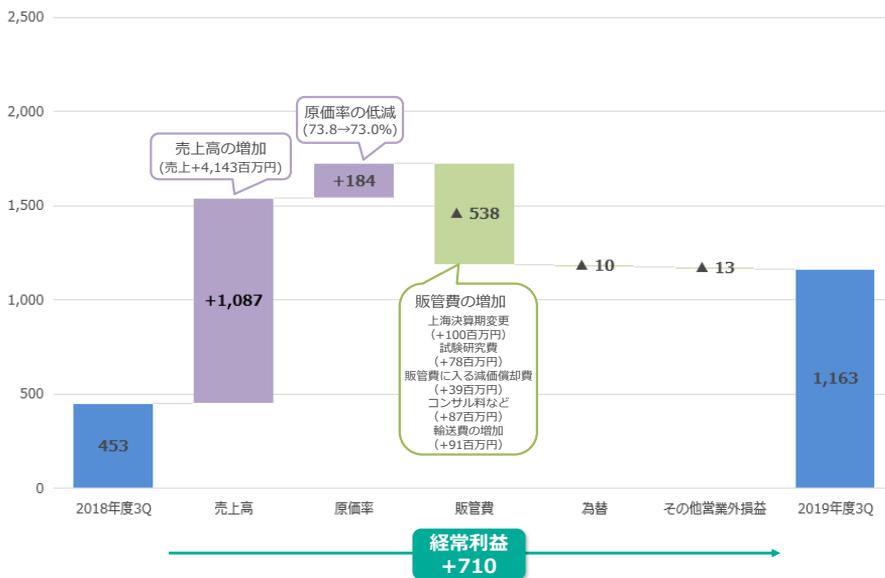
□加えて破砕機、防水板ともに利益率が良いため営業利益が増えて、営業利益率も高い水準で推移しています。

□例年、4Qに水門の売上也入って来ますので最終的には期初に想定していたより良い数字になると予想しています。

2019年度3Q 経常利益 増減要因分析



(単位：百万円)



www.nikko-net.co.jp © Copyright NIKKO CO., LTD. 2020 All rights reserved.

16

□3Qの経常利益の前年同期比の増減要因分析です。

□今期に関しては、売上高による利益増の影響が圧倒的に大きくなります。

□販管費が5億38百万円増えている理由は記載している内容になりますが、試験研究費、減価償却費、コンサル料、また出荷量増に伴う輸送費の増加など極めて前向きな販管費が増加となっています。

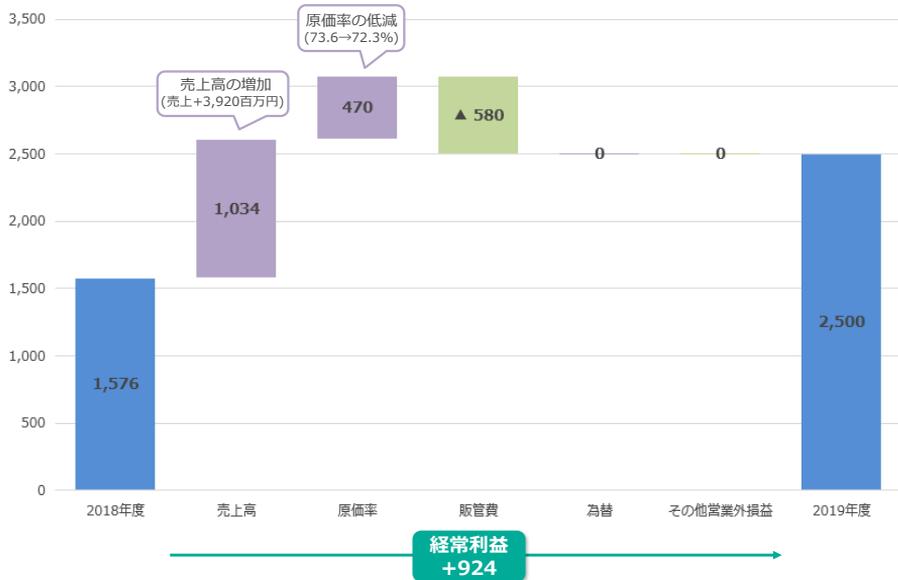
更に上海の決算時期の変更による3ヶ月分の販管費が約1億円計上されています。

2019年度通期 経常利益 増減要因分析（予想）



通期予想変更なし

(単位：百万円)



www.nikko-net.co.jp © Copyright NIKKO CO., LTD. 2020 All rights reserved.

17

- 通期では、経常利益の見込みを前年比+924百万円と予想しています。
- 売上高の増加による影響、原価率の低減を予想しています。
- 原価率が下がることについては、（マージンが高い）メンテナンスの売上が4Qに集中することが大きな要因です。

バランスシートの推移



(単位：百万円)

| | | 2018年度3Q | 2019年度3Q | 増減 | 増減の主な要因 |
|---------------------------|--------------|---------------|---------------|---------------|--|
| 資産 | 流動資産 | 28,897 | 29,616 | +719 | 増加：現金及び預金 +1,733百万円 受取手形及び売掛金 +813百万円 製品及び商品 +179百万円 原材料及び貯蔵品 +124百万円 減少：電子記録債権 ▲824百万円 仕掛品 ▲853百万円 未収入金 ▲374百万円 |
| | 有形固定資産 | 6,496 | 7,214 | +718 | 増加：建物及び構築物 +339百万円 土地 +111百万円 建設仮勘定 +160百万円 繰延税金資産 +141百万円 減少：投資有価証券 ▲489百万円 |
| | 無形固定資産 | 365 | 387 | +67 | |
| | 投資その他 | 7,622 | 7,214 | ▲1,565 | |
| | 総資産合計 | 43,382 | 44,433 | +1,051 | |
| 負債 | 流動負債 | 10,822 | 11,125 | +303 | 増加：支払手形及び買掛金 +187百万円 電子記録債務 +382百万円 ファクタリング未払金 +583百万円 減少：未払金 ▲141百万円 前受金 ▲723百万円 |
| | 固定負債 | 2,928 | 2,920 | ▲8 | |
| 純資産合計 | | 29,631 | 30,387 | +330 | 増加：資本剰余金 +109百万円 利益剰余金 +747百万円 減少：其他有価証券評価差額金 ▲179百万円 為替換算調整勘定 ▲110百万円 自己株式 ▲156百万円 |
| 1株当たり純資産 (円 銭) | | 773.30 | 783.75 | +10.45 | |

※当社は、2019年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております。
 1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております

www.nikko-net.co.jp © Copyright NIKKO CO., LTD. 2020 All rights reserved.

18

- BSの1年前との比較です。
- 総資産は全体で10億円増えています。内訳は流動資産+7億円、有形固定資産+7億円、一方投資その他で▲15億円となりました。
- 負債は大きな変動はありません。純資産は+330百万円でした。
- 増減の主な要因は表の右側に記載しています。現預金が+17億円となりましたが、必要運転資金の減少と政策投資株の売却による現金化が一番大きな要因です。



| | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019年度 予想 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|--------------|
| 自社株買い | 1 | 1 | 4 | 9 | 1 | 2 | 1 | 1,006 | 246 | - | - |
| 自社株売却 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 752 | - | - |

※2019年度の配当予想には、中間配当10円、期末配当10円の年間20円の100周年記念配当を含みます

★2019年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しており、分割後の配当金額に統一して記載しています

- 配当金及び総還元性向の推移では、2019年度に関しては記念配当20円、通常配当20円、年間配当40円を期初に発表しています。中間配当の20円は予想通り実施済み、期末配当についても予想通り実施の予定です。
- 次年度以降については、記念配当（20円）はなくなります。
- しかし、中期経営計画発表時に発表したように、当社は従来配当性向30%程度で運用してきましたが、来期以降は配当性向を倍の60%を一つの水準で考えていきます。
- 自社株買いについて、2018年度、2019年度の今のところ行なっていません。
来年度以降については現在のところニュートラルですが、自社株買いを検討できる環境になってきたと思っています。
- 従来、当社の株主数が2,000名を少し超える水準であり、自社株買いを行なって株主数を減らすことが出来ませんでした。しかし9月末時点で株主数が4,000名を超え、株主数をあまり心配する必要がなくなりました。
- そのため来期以降に関して、自社株買いも株主還元の一つの施策として検討に入ってくるかと思っています。



参考資料

売上高・利益・キャッシュフロー等の推移



(単位：百万円)

| | 17年度 | | | | 18年度 | | | | 19年度 | | |
|-----------------|-------|-------|-------|--------|---------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q |
| 売上高 | 6,179 | 9,974 | 7,992 | 10,969 | 5,415 | 9,282 | 5,721 | 11,362 | 8,001 | 9,139 | 7,422 |
| AP関連事業 | 2,768 | 4,664 | 4,155 | 5,592 | 2,361 | 5,472 | 2,460 | 6,140 | 3,917 | 4,750 | 3,789 |
| BP関連事業 | 2,236 | 3,370 | 1,291 | 2,624 | 1,671 | 2,199 | 1,612 | 2,410 | 2,442 | 2,127 | 1,722 |
| 環境及び搬送関連事業 | 407 | 1,046 | 1,519 | 959 | 462 | 636 | 601 | 1,075 | 492 | 861 | 561 |
| その他事業 | 766 | 894 | 1,027 | 1,793 | 921 | 973 | 1,048 | 1,734 | 1,149 | 1,400 | 1,350 |
| 営業利益 | 48 | 760 | 393 | 902 | ▲ 26 | 500 | ▲ 167 | 1,120 | 276 | 683 | 81 |
| AP関連事業 | 100 | 350 | 318 | 580 | 42 | 373 | ▲ 132 | 680 | 222 | 454 | ▲ 53 |
| BP関連事業 | 145 | 524 | 68 | 278 | 66 | 292 | 23 | 285 | 110 | 187 | 89 |
| 環境及び搬送関連事業 | 24 | 77 | 115 | 92 | 59 | 49 | 146 | 163 | 80 | 139 | 174 |
| その他事業 | 22 | 85 | 121 | 234 | 21 | 72 | 115 | 294 | 175 | 273 | 196 |
| 全社費用 | ▲ 244 | ▲ 275 | ▲ 231 | ▲ 281 | ▲ 216 | ▲ 286 | ▲ 318 | ▲ 302 | ▲ 313 | ▲ 370 | ▲ 322 |
| 経常利益 | 161 | 764 | 431 | 883 | 87 | 508 | ▲ 142 | 1,123 | 361 | 673 | 129 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 182 | 561 | 308 | 439 | 130 | 434 | ▲ 2 | 783 | 270 | 733 | ▲ 33 |
| 営業CF | 274 | | | | ▲ 218 | | | | - | | |
| 投資CF | 41 | | | | ▲ 1,021 | | | | - | | |
| 配当金総額 | 232 | - | 191 | - | 267 | - | 229 | - | 229 | - | 775 |
| 自社株取得額 | 245 | | | | 0 | | | | 0 | | |

事業別受注高と受注残高の推移（累計ベース）



(単位：百万円)

| 受注高（累計） | 17年度 | | | | 18年度 | | | | 19年度 | | |
|------------|-------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q |
| AP関連事業 | 2,803 | 8,254 | 10,572 | 17,182 | 2,787 | 6,501 | 8,137 | 18,884 | 3,575 | 8,419 | 11,196 |
| BP関連事業 | 1,458 | 4,274 | 6,430 | 9,066 | 1,351 | 3,834 | 5,720 | 8,438 | 1,969 | 4,313 | 6,315 |
| 環境及び搬送関連事業 | 864 | 1,517 | 2,162 | 2,947 | 413 | 1,056 | 1,987 | 2,773 | 449 | 1,187 | 1,787 |
| その他 | 768 | 1,886 | 3,144 | 4,420 | 1,140 | 2,461 | 3,805 | 5,007 | 1,325 | 2,923 | 4,578 |
| 合計 | 5,896 | 15,933 | 22,309 | 33,616 | 5,693 | 13,854 | 19,650 | 35,103 | 7,320 | 16,843 | 23,877 |

| 期末受注残高 | 17年度 | | | | 18年度 | | | | 19年度 | | |
|------------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q |
| AP関連事業 | 6,391 | 7,178 | 5,341 | 6,359 | 6,784 | 5,027 | 4,203 | 8,808 | 8,466 | 8,561 | 7,548 |
| BP関連事業 | 2,572 | 2,018 | 2,883 | 2,894 | 2,575 | 2,858 | 3,132 | 3,439 | 2,967 | 3,184 | 3,464 |
| 環境及び搬送関連事業 | 1,827 | 1,434 | 560 | 387 | 338 | 345 | 675 | 385 | 342 | 219 | 258 |
| その他 | 553 | 776 | 1,008 | 490 | 710 | 1,058 | 1,352 | 820 | 997 | 1,194 | 1,498 |
| 合計 | 11,346 | 11,408 | 9,793 | 10,132 | 10,409 | 9,289 | 9,364 | 13,454 | 12,773 | 13,158 | 12,769 |

設備投資、減価償却費、研究開発費、非財務データの推移



(単位：百万円)

| | 2011年度 | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 予想 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| 設備投資 | 292 | 335 | 844 | 815 | 877 | 1,261 | 550 | 1,889 | 800 |
| 減価償却費 | 432 | 389 | 395 | 422 | 487 | 482 | 472 | 508 | 550 |
| 研究開発費 | 239 | 256 | 295 | 276 | 227 | 271 | 291 | 211 | 300 |

(単位：人、歳、年)

| | | | | | | | | |
|---------------|------|------|------|-------|------|-------|------|------|
| 連結従業員数 | 775 | 763 | 767 | 796 | 803 | 797 | 807 | 799 |
| 従業員平均年齢(単体) | 44.2 | 44.7 | 43.3 | 43.1 | 42.2 | 42.3 | 42.2 | 40.9 |
| 平均勤続年数(単体) | 21.5 | 21.2 | 20 | 19.3 | 18.2 | 18.5 | 18.3 | 16.0 |
| 女性社員数(単体) | 28 | 31 | 31 | 33 | 39 | 42 | 42 | 45 |
| 新卒採用者数(単体) | 13 | 15 | 21 | 21 | 30 | 17 | 19 | 15 |
| 新卒女性社員採用数(単体) | 1 | 0 | 1 | 3 | 1 | 2 | 0 | 0 |
| 女性社員採用割合(単体) | 7.6% | 0% | 4.7% | 14.2% | 3.3% | 11.7% | 0% | 0% |
| 外国人採用数(単体) | 1 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 外国人従業員数(単体) | 2 | 2 | 8 | 6 | 6 | 6 | 7 | 8 |
| 外国人従業員(連結) | 92 | 90 | 91 | 95 | 94 | 93 | 101 | 98 |
| 海外従業員数(連結) | 92 | 90 | 91 | 95 | 92 | 91 | 101 | 98 |

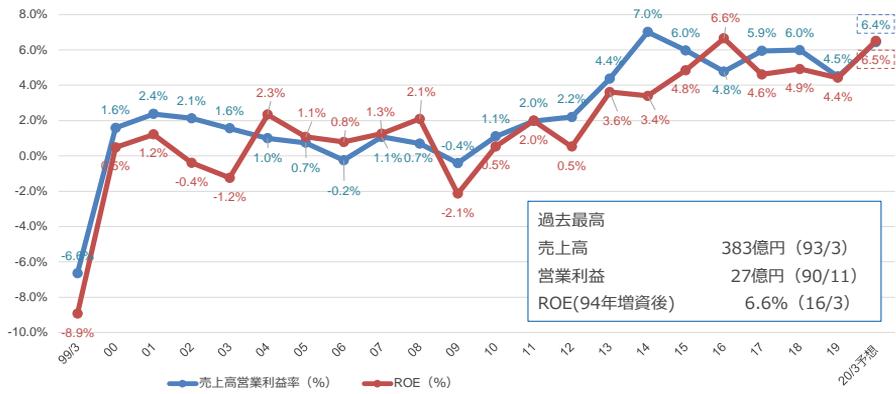
環境負荷軽減新製品

| | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 |
|----------|------------------------|------------------------------|--------------------------------------|-------------------|--------|--------------|
| 新製品名 | 【砂専用乾燥装置】 【高温予熱バーナ】 | 【NTB-Ⅱバーナ】 | 【新型バグフィルタ】 | 【VPシリーズAP】 | — | 【フォームAS製造装置】 |
| 環境負荷軽減項目 | ・プラント生産効率UP ・省エネルギー | ・省エネルギー ・燃焼領域での 燃焼効率UP | ・省スペース ・省エネルギー ・排ガス量低減 ・低騒音 | ・再生材の 臭気ガス拡散防止 | — | ・中温化素材の製造対応 |

主要財務データの推移



営業利益率・ROE



(単位：百万円)

| | 99/3 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20/3 予想 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------------|
| 売上高 | 22,294 | 22,157 | 22,595 | 23,170 | 24,307 | 24,812 | 24,864 | 22,175 | 25,035 | 26,942 | 23,856 | 23,971 | 23,803 | 24,553 | 27,087 | 32,073 | 30,707 | 34,110 | 32,717 | 35,114 | 31,780 | 35,700 |
| 営業利益 (損失) | ▲1,480 | 352 | 536 | 492 | 379 | 248 | 185 | ▲55 | 271 | 189 | ▲98 | 265 | 470 | 541 | 1,186 | 2,249 | 1,832 | 1,629 | 1,944 | 2,103 | 1,427 | 2,300 |
| 経常利益 | ▲1,290 | 201 | 846 | 664 | 688 | 492 | 537 | 350 | 699 | 545 | 482 | 899 | 812 | 621 | 1,108 | 1,982 | 1,582 | 1,648 | 1,993 | 2,239 | 1,576 | 2,500 |
| 当期純利益 (損失) | ▲2,151 | 121 | 298 | ▲93 | ▲284 | 567 | 265 | 203 | 315 | 513 | ▲499 | 124 | 461 | 122 | 881 | 888 | 1,348 | 1,896 | 1,340 | 1,490 | 1,345 | 2,000 |



ミーティングのご希望などございましたら、お気軽に以下宛ご連絡ください

(東京でのミーティングも可能です)

TEL 078-947-3141 IR-nikko@nikko-net.co.jp

日工株式会社 財務本部 八軒（はちけん）宛

- 当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。
- 当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、投資判断を決定する場合には、当資料の将来の見通しのみを依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。
- また、当資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更する事もありますので、ご了承ください。